

学校と家庭、地域を結ぶ

白布城だより

2021・冬

栃木県立真岡高等学校定時制課程

〒321-4331 栃木県真岡市白布ヶ丘24番地1

☎0285-82-3413 ■FAX0285-82-2913

●巻頭言●

「 学ぶことの楽しさ 」

教 頭 植竹 暁

保護者の皆様並びに定時制後援会、地域の皆様には、日頃から本校の教育活動に多大なるご協力とご支援をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

さて、この2学期は新型コロナの影響で、例年ロータリークラブの方々と一緒に行っている学校周辺の清掃活動を学校単独での実施としたり、修学旅行(函館)を1ヵ月延期したりするなどの変更はありましたが、生徒総会や進路ガイダンス等ではオンラインの活用により会場を分散して行うなど工夫することで、計画していた全ての学校行事を実施することができました。こうした学校行事や日々の授業を通して、生徒一人ひとりが、何かしらを学び、感じ、成長してくれていることを願っています。

ところで、修学旅行先の函館は、私自身はおそらく6回目の訪問でしたが、事前指導(教頭講話)で生徒に函館の地理や歴史について話をするために色々と調べて学んだおかげで、以前訪問した時とは違う新たな見え方や感じ方がして思いのほか楽しむことができました。立命館アジア太平洋大学学長の出口治明さんは、著書『人生を面白くする本物の教養』で、なぜ教養を身に付ける必要があるのかという問いに対し、「教養とは、人生におけるワクワクすること、面白いことや、楽しいことを増やすためのツール」だからと述べていますが、人生を面白くするために学ぶという考え方に、とても共感するところがあります。さまざまな知識を学ぶことで、より幅広い物の見方、考え方が身に付き、人生が彩り豊かなものとなる。そういう学びの本来の楽しさを生徒にも伝えていければと思います。

最後になりますが、現在、新たな変異株「オミクロン株」の世界的な感染拡大が懸念されていますので、3学期も感染防止対策を徹底しながら教育活動の充実に向けて努めて参りたいと考えています。保護者の皆様並びに定時制後援会、地域の皆様には、引き続き、本校の教育活動へのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。それでは、皆様、どうぞよいお年をお迎えください。

■第2学期始業式は放送で

9月1日(水)、昨年より4日長い夏休みでした。旧友との再会に心弾ませ、生徒たちは元気に登校しました。コロナウイルスの1日の新規感染者数が2万人を超える中で行われました。

前橋 均校長は、放送室から『想像と創造』というテーマ、「1つは『想像力』で、困難や危険を乗り越えるための方法を、知恵を絞って考えていくこと。人生においても、またコロナ禍を乗り越えるためにも、『想像して、創造する』ことで、自分らしく生きていけるはずです。心の危機管理をしながら、充実した2学期を過ごしていきたいでしょう」と話しました。

■表彰式・表彰伝達式、及び第2回生徒総会、ビデオ通話“ZOOM”で

9月3日(金)、7月の校内生活体験発表会の表彰式が、代表者のみ記念館、他生徒は各教室で行われました。記念館で撮影した映像を、教室で各自のタブレットPCで見ることができるZOOMというアプリを使って視聴、生徒は興味深く取り組んでいました。

最優秀賞 臼井城依(4年次) 優秀賞 田中美由希(2年次)、鈴木乃愛(1年次)

優良賞 小川遼大(4年次)、マルケズ・カルロス(4年次) 勝田大翔(3年次)、

ビステ・ロック(3年次)、野澤尚史(2年次)、岡本悠(2年次)

続いて第2回生徒総会では、1学期の選挙で選ばれた生徒会役員と生徒会執行部が信任されました。

会長 八谷花梨(2年次) 副会長 ピント・シオ(2年次)、赤羽ひろみ(3年次)

書記 宮城賢治(2年次)、鈴木乃愛(1年次) 会計 篠原匠(3年次)、福田真美(3年次)

会計監査 細谷正輝（3年次）、岩崎夕希（1年次）

■第2・3回専門委員会開催、新体制スタート

9月3日（金）には第2回専門委員会が行われ、前期委員により1学期の活動の反省点を出し合いました。続いて、9月17日（金）の第3回専門委員会では、後期委員の初会合で、新役員、活動計画を決定しました。

HR委員長	松山遥樹（4年次）	副委員長	新山叶翔（3年次）
出版委員長	濱 裕葵（4年次）	副委員長	中家末喜（4年次）
保健体育委員長	マルケズ・カルロス（4年次）	副委員長	小川遼大（4年次）
図書委員長	酒井須来里（4年次）	副委員長	勝田大翔（3年次）

■第3回進路ガイダンス

9月24日（金）、記念館にて「『惨めな社会生活を送りたくない』あなたへ」と題して、宇都宮ビジネス電子専門学校長 羽石良久様より豊富な資料とビデオ教材を交えながら、ご講話をいただきました。

■卓球・バドミントン・陸上競技部、県秋季大会に参加。 岡本 悠君、男子1500m優勝 菅野秀紀君、男子砲丸投げ第2位

近年、部活離れにより部員数が減少傾向で、定通総体の参加がありませんでした。夏休み中も佐藤成之先生と陸上部・八谷花梨さんが二人三脚で練習する光景に、部活動の灯を消すまいという機運が一気に高まり、部活動が活発になってきました。今後も頑張りを期待したいと思います。

3つの部活の『部活動だより』をお届けします。

バドミントン部 ピント・シオ（2年）

私たちバドミントン部は顧問の横川先生のご指導の下、河原凱大君（3年）と僕の部員2名で活動しています。「楽しくプレイする」をモットーに、2人で活動計画を立て活動しています。「体を動かしたい」と考えている人にピッタリだと思います。僕が入部したのもそんな理由からで、続けてきてよかったなと思います。活動内容は、校内バドミントン大会はもちろん、県大会勝利に向けて頑張っています。入部希望者はいつでも大歓迎です。

卓球部 野澤尚史（2年）

私たち卓球部は、顧問の石川先生のご指導の下、金壽光稜君（2年）と僕の部員2名で活動しています。練習時間はタ・夜間のどちらでも参加できます。練習メニューも2人で考え、得意・不得意な面を伸ばそうとしています。このような練習を通じ、県大会優勝を目指して取り組んでいます。しかし、大会の団体戦に出場するために、少なくとも4名が必要です。入部をお待ちしています。

陸上競技部 岡本 悠（2年） 種目：トラック競技

私たち陸上部は、トラックとフィールド種目があり、顧問の佐藤先生のご指導の下、菅野秀紀君、宮城賢治君と僕の男子3人、八谷花梨さんの女子1人の計4人で活動しています。活動は、火・水曜日の週2回行っています。

陸上部に入って、基礎体力の向上につながったと実感しています。また、結果を出せば後の進路面に役立つので、下校が遅くなることを差し引いても得るものは大きいと思います。部費や道具も必要ありません。

陸上競技部 菅野秀紀（2年） 種目：砲丸投

私は2年生から入部しました。砲丸投げは高校男子6kg、女子4kgの鉄球を押し飛ばす競技です。本校では練習時、若干軽い砲丸を用いているため、初心者にも投げやすいと感じました。練習は投てきに加え、筋トレや走り込みも行っています。顧問の先生の指導もすばらしく、コツをわかりやすく教えてくださいましたので、練習すればするほど確実に前より記録が伸びたと実感できています。おかげで、僕は県大会2位になることができました。これからも努力を積み重ね、来年は全国大会を目指したいです。

■石川先生が人権教育講話

10月8日（金）、本校、地歴公民科の石川善行先生が記念館において、『ユニバーサル・デザインとは』と題して講話されました。「国籍・文化・性別・年齢・能力を問わず、全ての人が対象となるもので、また、高齢者や障がい者のバリアフリーを含むのがユニバーサルデザインである。しかし、これも万能なものでなく、人々が少しの配慮や気づきを身近な所から始めることが必要となる。例えば、ろうあ者にとって、マスクをした人の口の動きが全く見えないため、健常者とのコミュニケーションが計りにくい。透明マスクの開発など、多様な視点をもつ必要がある」とのお話が印象に残りました。東京オリンピックの開会式のピクトグラムの映像を視聴しながら、楽しいひと時となりました。

■主権者教育講演会

10月15日（金）、記念館にて角海映夫税理士をお招きして、ご講話をいただきました。

「民主主義の根幹である租税の意義や役割を正しく理解させ、その使い道に関心を持たせることで、租税者の自

覚を持たせる」というテーマでした。

先生は元気いっぱいのお人柄で、まず 1 億円のダミーの札束を演台の上に積まれて、「これはいくらだと思う？」と切り出され、興味深く話を聞くことができました。紆余曲折を経て苦節 10 数年の努力の結果、税理士になった苦労話も話してくれ、生徒たちの中には「努力は実を結ぶ」と発憤のきっかけになった者もいました。

■校内防火防災避難訓練

10 月 22 日（金）、避難訓練では、生徒たちが地震発生の報知後すぐに机の下にもぐる姿を目にし、本校生の真摯な姿勢に改めて感心させられました。

体育館への避難完了後、教頭先生から「救急車が到着するまでの時間は、全国平均 8 分かかるので、5 分以内に重篤な傷病者に対する AED 処置が肝腎である」との話しに、適切な緊急処置の必要性を再認識しました。

■県高校定時制通信制生徒生活体験発表大会、臼井君、堂々の優秀賞

10 月 23 日（土）、宇都宮工業高校で開催された本大会は、定通制高校に通う生徒が、学校生活で感じたこと、体験したことを発表する大舞台、県内 10 校から 13 名が出場しました。本校の臼井城依君は、2 位相当の優秀賞に輝きました。おめでとうございます。

■全校ボランティア体験活動、勢ぞろいの記念撮影

10 月 29 日（火）、本校伝統の活動が学校周辺の市街地で行われました。係の大谷先生は、「本来、ボランティアは自発的に行うもの。今回はボランティア『体験活動』である。しかし、やらされるのではなく、一人一人の心の持ちようで、体験が活動になる」と話しました。

その後、学年ごとに 4 つのコースに分かれてゴミ拾いを行いました。作業中、地域の方から「ありがとうね、私らも負けずに落ち葉拾い、頑張るよ」との感謝のお声掛けをいただきました。捨てられたゴミがあまりなく、地域の方の環境への意識の高さが伺えました。全校生徒の記念撮影を行いました。



■全校生で作った定時制祭、大盛り上がり

11 月 5 日（金）、後期生徒会役員にとって最初で最大の行事である定時制祭が開催されました。

全国のコロナウイルス新規感染者が 200 人台まで減ってきた中で、久しぶりに勢揃いしての行事でした。学年の枠を取り払い、4 つのグループに分かれて、クイズ形式で優勝を競いました。内容は 4 部構成と盛り沢山で、楽しいタベとなりました。

(1) 生徒会役員が、生徒会担当教員と一丸となって、毎日遅くまで残って制作した各先生方へのインタビュービデオを視聴し、3～4 択の質問に答えました。

トッパッターは、校長先生。八谷新生徒会長とのインタビュービデオからの出題です。

緊張の面持ちの八谷さんに対し、校長室を案内してくれました。校長先生はマスクの下の隠された素顔に、ある特徴がありますが、さてそれは何でしょう？（1 ホクロ、2 えくぼ、3 八重歯）の 3 択です。

解答に合わせて、コロナ以降初めてマスクを取っていただきました。正解はキュートな八重歯でした。

お 2 人目は教頭先生、大学時代に成し遂げた日本一周と 47 都道府県全制覇のバイク旅の話で、二輪に颯爽とまたがる姿は格好良かったです。

3 人目は、顔にモザイクがかかった先生を質問内容から当てるクイズで、その正体は佐藤先生でした。

4 人目は石川先生、高一から 25 年間、サザンオールスターズのファンクラブに入っていたそうです。

5 人目は大谷先生、愛犬 2 匹と 2 台の愛車の話でしたが、実はその時、~~6~~ 3 台目を購入済でした。

6 人目は小森先生、息子さんの勧めでバンパカ チキンのライブに行ったら、泣いて感動したそうです。

7 人目は河上先生ゴルフスコア 77 と玄人はだし。サッカーコート 1 面分の田んぼまでお米作りをしています。

8 人目は篠原先生、奥様とは同じアパートの 2、4 階の真下に住んでいて、赤い糸で結ばれていたとか。

9 人目は江田先生、ヘビが大の苦手なのに三線を始めたきっかけを話し、実際に演奏してくれました。

10 人目は鈴木先生、愛猫（ルエ・ジャック・フォルスト・キャット）と勤務していたクッキングスクールの話。

11 人目は横川先生、初代ロックマンというゲームを攻略した話とチャーハン作りを極めた話。

12 人目は森田先生、小学生から大学生までバスケットボール部、食事と栄養と健康について話しました。

最後は生徒会担当岡野先生 VS 生徒会のチャレンジビデオ。長距離走の後の牛丼早食い競争という笑いあり涙なしの奮闘を描いたドキュメントに仕上がっていました。

(2) 生徒会役員によるコスプレショー。

1 人目は、赤羽ひろみさんによる小悪魔風制服、キュートでした。

2 人目は、ピント・ジオ君の巫女さん、神の使いの妖気が漂っていました。

3 人目は、八谷花梨さんによる詰襟男子、凛々しかったです。

4 人目は、細谷正輝君による東京リベンジャー、時空を超えたオラが出ました。

(3) ひらがな並べ替えゲーム（例：う・き・く・び・ゆ・よ）

→（ゆうびんきょく）と、協力して並べ替えるチーム戦。

(4) ピコピコハンマーと風呂桶を使ったじゃんけんゲーム、

勝ったらハンマーで叩き、負けたら桶で防御する 1 対 1 の真剣勝負。

校長先生から、生徒一人一人にお菓子の差し入れをいただき、ありがとうございました。



■活発な授業、保護者も飛び入り参加 ～ 保護者授業参観 ～

11月12日（金）3限、今年度の授業参観に多くの保護者の方が来校されました。

1年次は「書道」のペン習字の授業でした。保護者の方も飛び入り参加して、生徒と共に筆を振るわれ、終始和やかな雰囲気でした。

2年次は「世界史」の人類の進化～狩猟採集から稲作の授業でした。グループ活動は活気にあふれ、保護者の方も熱心に傾聴されていました。

3年次は「数学A」で、先生がタブレットPCに書いた字が、黒板に投影される最新鋭の授業が展開され、生徒は活発に取り組んでいました。

4年次は「情報の科学」の授業でした。生徒のキーボードを操作する処理能力の高さに驚いていました。



■進路講演会

同日4限、記念館にワークエントリーの野崎千晶様をお迎えして、進路講演会を開催しました。多くの保護者の方も参加され、熱心に話を聞いていました。自立・自己実現『自分の個性を十分発揮して、なりたい自分になる、最高の自分になる』をテーマに話をされました。

「マスク時代は2倍の表情作りを意識」「少々、お待ちください」の待たせる時間もクレームの対象となり得る。「報・連・相では、相談上手になれ」等、貴重なお話を今後に生かしたいと思いました。

起立してお辞儀練習をする際、きちんとやれる本校生にお褒めの言葉をいただきました。外部の方が来校される度に、良い印象を持たれて帰られることが多く、本校生の素晴らしい点だと思います。

■“はるばる来たぜ函館” 修学旅行

11月17日（水）～19日（金）、教頭先生を団長に、生徒10名、教職員3名で、北海道函館方面に2泊3日の旅に行ってきた。JR宇都宮駅に集合して、天候にも恵まれ、北海道新幹線を利用しました。欠席者や、体調を崩す者もなく全行程を終えることができ、思い出に残る旅になりました。

事後アンケートでも、函館山（夜景）、五稜郭公園（タワー）、シェラトン函館ホテルは、全員「満足」の評価でした。校長先生、大谷先生、お見送りやお出迎え、ありがとうございました。

校長先生から、教職員・生徒一人一人にお菓子の差し入れをいただき、ありがとうございました。

「修学旅行の思い出」 篠原匠（3年）

今年は、新型コロナウイルスが猛威を振るい、各地で行われる行事・イベントが中止になることが多い一年でした。私たちの世代の修学旅行も中止になるのだらうと思っていたところ、幸いにも無事に行われることとなり、多くの級友が参加することができました。

北海道に行くのは初めての者が大半で、11月頃の函館はとても寒いのだらうと思っていましたが、天候にも恵まれポカポカ陽気の中、楽しい修学旅行になりました。現地への往復は北海道新幹線で、宿泊はシェラトン函館ホテルと、とても快適な旅でした。

朝市ではウニいくら丼などの海の幸、函館ラーメンやラッキーピエロのハンバーガーのご当地グルメに舌鼓を打ちました。腹ごしらえした後は、五稜郭公園、トラピスチヌ修道院、ハリストス正教会等の歴史的建造物や美しい街並みに触れることができました。夜には日本三大夜景のひとつである函館山からの「百万ドルの夜景」を眼下に見下ろし、仲間たちと感動を分かち合え、忘れられない思い出を作ることができました。

このような機会を作ってくれた先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。



■校外学習 in 東武動物公園

11月19日（金）、小春日和の中、32名の参加で借り上げバスにより、埼玉県の東武動物公園に行ってきた。生徒は集合時間をしっかり守り、バスや園内のマナーもたいへんよかったです。

校長先生から、教職員・生徒一人一人にお菓子の差し入れをいただき、ありがとうございました。

「校外学習の思い出」 濱 裕葵（4年）

私たちは先日、埼玉県にある東武動物公園に行きました。出発前からすでに車内は、現地に着いたら何をしようかと、大盛り上がりでした。行きのトイレ休憩で道の駅に寄ったときから、級友がアイスクリームを食べているのを見て、私もどんどん期待で胸が膨らんできました。（その友人は到着後も、あと3つ食べていました（笑））まもなく現地に着いて、サル山で記念撮影をした後、自由行動になりました。友人とアフリカゾウやホワイトタイガーといった猛獣を見て回りましたが、中でも一番のお気に入り「ヒグマの森」でした。実物の大きさをガラス越しで至近距離から見た途端、あまりの迫力に圧倒されました。

1・2年生のときも校外学習は楽しかったけれど、特に今年は楽しくて、とてもよい思い出になりました。高校生活もあとわずかになったけれど、残りも充実した学校生活を送りたいと思います。



■薬物乱用防止講話“ダメ。ゼッタイ。”

11月26日(金)、記念館にて真岡警察署生活安全課長 金重隆之様から講話及びビデオ視聴が行われました。剣道の全国大会出場や、交番勤務、刑務官時代のエピソードを交えながら、薬物乱用の恐ろしさについて話されました。

■年末大掃除“今年の汚れ、今年のうちに”

12月17日(金)4限、普段清掃できていない箇所を中心に大掃除を行いました。生徒たちは時間いっぱいまじめに取り組み、サボっている者はひとりも見受けられませんでした。こういうところこそが、真岡高校定時制の誇れる点だと思います。

■校内体育大会“熱戦に次ぐ熱戦”

12月23日(木)、待ちに待った校内体育大会のバレーボール競技が開催されました。男女混合の6人制で、選手は交代しながら全員参加するルール、予選は25点1セット、準決・決勝は15点3セットマッチで行われました。

夜の10時まで練習していたクラスもありました。白熱した試合を繰り広げながらも、サーブを打つときやミスしたときにクラスメートに声を掛け、励ましあいながら試合が展開されました。みんなで仲間への思いをつなぐ全力プレーが随所に見られました。特に準決・決勝のプレイのレベルの高さは素晴らしいです。

校長先生から、生徒一人一人にお菓子の差し入れをいただき、ありがとうございました。

■第2学期終業式

12月24日(金)の第2学期終業式にあたり、前橋 均校長は、奄美地方の「うがみん」という挨拶(「こんにちは」に当たる挨拶で、語源は「拝みます」)を紹介し、「相手を気づかう挨拶、思いやりを含めた言葉を大切に、これからも気持ちを込めて挨拶をしていきましょう」と話しました。また、コロナ禍の中、長い2学期を乗り切った生徒たちを讃え、「新しい年には、新しい決意をもって、更に頑張っていこう」と呼びかけました。

先だって、表彰式・表彰伝達式が行われました。以下のみなさん、おめでとうございます。

① 第2学期皆勤 1年次 水上拓海

2年次 高橋 明、ピント ジオ

4年次 臼井城依、小川遼大、篠原優夢、中家末喜、波多野健也、濱 裕葵、松山遥樹

② 校内体育大会(バレーボール) 優勝 4年次Aチーム、準優勝 4年次Bチーム

③ 定通文化発表会

発表の部 優秀賞 4年次 臼井城依

ポスターの部 優秀賞 3年次 小嶋咲良 佳作 4年次 篠原優夢

④ 第72回芳賀地区芸術祭

俳句部門 入選 2年次 岡本 悠

短歌部門 入選 2年次 瀧澤一樹

詩 部門 入選 2年次 田中美由希

⑤ 令和3年度栃木県高等学校定時制通信制秋季陸上競技大会

男子1500m 優勝 2年次 岡本 悠、男子砲丸投げ 第2位 2年次 菅野秀紀

⑥ 芳賀郡市教育祭表彰 4年次 臼井城依

■進路指導部長より ― 進学・就職面で素晴らしい成果 ―

令和3年度の進路状況は以下の通りである。4年制大学1名、短期大学1名、専門学校5名、就職7名の計14名であった。4年制大学は、総合型選抜入試で合格した。志望理由書と自己推薦書の作成を夏休み前から熱心に取り組み、オープンキャンパスにも参加し、進学先の特色をしっかりと調べていた。面接の練習も複数の教員と行った。これらの入念で計画的な取り組みが奏功して合格したと思われる。



次に短期大学に合格したのは外国籍の生徒で、毎週4回始業前に、校内の日本語教室に通い、小論文と面接の指導を受けた。受験後は喜々として、「力を充分に出せました」と報告していた。

専門学校に合格した5名は、やはり、オープンキャンパスに複数回参加し、進学先を決めた。在校生は、6月に行われる進学ガイダンスに積極的に参加し、予め決めた分野や学科の内容をよく理解して欲しい。そして、夏休み等を利用してオープンキャンパスに足を運んで欲しい。

最後に就職者については、全て第一希望の企業に内定した。6月の進路ガイダンスや夏休みが始まって直ぐに行われる2回目の進路ガイダンスを賢く利用して欲しい。また、人物重視で採用する事業所がほとんどなので、言葉遣いや口頭での表現力も身に付けておくこと。

【大学・短大】

国際医療福祉大学 医療福祉学部 マネジメント学科 介護福祉コース
佐野日本短期大学 総合キャリア教育学科 グローバルコミュニケーションコース

【専門学校】

TBC 学院 情報処理科 プログラマーコース（2名）
エンターテインメント学科
こども学科 幼稚園教諭・保育士コース（3年短大併修）
デザインクリエイター学科

【企業】

（株）矢崎部品 「ワイヤーハーネス」世界シェアトップクラス 年間売り上げ1兆7千億円
（株）中山産業（4名）東京ドーム9個分の敷地、神戸製鋼所との取引NO.1、木製金属製パレットの製造
（株）東洋ビューティ 化粧品受託メーカーとして3拠点4工場をもち、少量多品種から大量生産まで
セブン・イレブン コンビニエンスストアFC店 正社員

● 令和3年度 第2学期クラス別出席率

学年次（コース）	在籍	出席率	皆勤者数
1年次（夕・夜）	8名	91.24%	1名
2年次（夕・夜）	15名	88.59%	2名
3年次（夕・夜）	16名	81.66%	0名
4年次（一・夜）	17名	92.35%	7名

● 「図書だより」冬号（図書委員会 刊行）

図書委員の『思い出の一冊』を中心に、年三回発行予定の第2回会報紙が生徒に配られました。
保護者の皆さまも、ぜひ御覧になってください。

★白布の風 ～あとがきに代えて～

今年も残りわずかとなりました。保護者の皆さま、定時制の後援会・自治会の皆さま、お変わりございませんか。

私たちの生活スタイルを一変させたコロナ禍の中、日本でもワクチン接種率が高まるとともに、新規感染者数が減少してきて、年末年始の会合等もできそうだと世間では安心ムードが漂っていました。

それも束の間、新型コロナウイルスの変異種オミクロン株が世界中に蔓延し出し、長期化の様相を呈してきました。まだまだ我慢の生活が続きそうです。

この「ウィズ・コロナの時代」を、「今」を生きる楽しさを感じながら、乗り越えていきたいものです。

今までの無機質な便利グッズに囲まれた生活や、人ごみの中に行きがちな生活から脱却し、自然界のものに目を向けたり、自然の中でゆっくりとした時間を楽しむ生活もいいな、と思う今日この頃です。

これまで通り3密（密接・密集・密閉）を避け、感染予防にご留意され、よいお正月をお迎えください。

皆さま、真岡高校定時制に関わる全ての方々が、つつがなく第3学期を迎えられますように祈念しております。

（記録・渉外部）